

2019年G20大阪サミット推進本部会議

1 開催日時

平成30年5月16日(水) 16時45分～17時30分

2 開催場所

大阪府庁本館3階 特別会議室(大)

3 議事録

【サミットに向けた主なスケジュールについて、大阪市 鳥山サミット協力室長より説明】

松井知事：シンボルマークは普段のサミットでも作成しているのか。
ロゴマークを作るだけでも作業が発生するのでは。

松井知事：限りあるパワーを必要なところに分散してやるべき。松井知事：

新井副知事：今後、光の響演や万博、ワールドカップなど様々なイベントがある中で、ボランティアや、広報、機運醸成などが他のイベントと錯綜することがないように。また、それぞれが相乗効果をだせるよう十分意識するように。

吉田サミット協力監：各部局の様々な行事と連携し、G20の意義を住民に伝えていきたい。

吉村市長：住民や事業者に交通規制をはじめ不便、負担をかける。広報も必要であるが、市民・府民のプロジェクトとして、楽しめるようなもの、サミットとの一体感を感じられるようなものを考えてほしい。

吉田サミット協力監：負担、不便をかける点について理解、協力いただく必要はある。吉村市長：今後、国に対し要望をしていくこともあると思うので、それぞれの所属で時機を逸することなく、主体的に取り組んでもらいたい。

【防災・危機管理対策について、大阪府 大江危機管理監からの説明】

竹内副知事：防災関係機関の連携は非常に重要。府警本部、海上保安庁、自衛隊と十分に連携を図り、警備警護、特別警戒が十分に機能できるようにしていただきたい。

松井知事：課題がでた時は、解決できる部局にすぐ送っていただきたい。幹部会議で解決できなければ副知事・副市長会議、それでもだめなら知事市長と。

吉村市長：指揮命令系統をしっかりとしておく必要がある。知事を筆頭にして、実務的な指揮命令系統はどうなるのか。情報共有、指揮命令系統など組織を超えた枠組みをやっていく必要がある。

【保健医療対策について、大阪府 藤井健康医療部長から説明】

竹内副知事：サミットのために色々規制しているが、一般の方が病気になった時に、規制の中ど
ういうルートで運ぶのか、そのあたりの情報交換もしていただきたい。

藤井部長：VIP 対応だけではなく、地元住民対応も重要になってくる。

松井知事：住民、事業者への理解促進が一番重要。府市の関係部局が所管している関係団体に G20
の意義と、みなさんにある程度の負担かけることについて各部局が主体的に情報発信
してほしい。国との情報共有もしてほしい。

【外務省 G20 サミット事務局 溝淵副事務局長からの発言】

溝淵副事務局長：来年 6 月 28 日、29 日に開催する G20 サミットは、わが国が主催するサミット
としては史上最大。政府としても 4 月 26 日に関係府省庁からなる G20 大阪サミット
準備会議第 1 回会議を開催した。その場では、サミットの成功に向け、政府が一丸とな
って準備を行っていくことを確認している。

会議場については、大阪府市からの提案を踏まえ、インテックス大阪前提で準備して
いる。

空港については、府市提案をふまえ、関空を基幹空港とし、伊丹空港、神戸空港等関
西圏空港との連携運用を進めるべく、関係機関と具体的調整を進めている。

G20 により世界の注目が大阪に集まることとなり、国際都市大阪のさらなる魅力を
世界に発信する絶好の機会である。G20 大阪サミットの成功には、開催自治体、府民、
企業のみなさまのご理解、ご支援が不可欠。そのために国としても、大阪と緊密に連携
し、準備に万全を期する予定である。

吉田協力監：今日の予定議題は以上。先ほど、主体的発信、国との連携、経営資源の抽出等色々
ご指示いただいたので、それぞれの府市の中で徹底できるような形で伝えたい。